

＼ 新たな公園について考える /

富まちミーティング【公園編②】

令和3年3月14日（日）10時～



富まちミーティング【公園編】の進め方

【公園編①】 2020年12月05日(土)

- ・コンセプトについて
- ・利活用イメージについて

済

公園基本計画に反映

【公園編②】 本日 2021年3月14日(日)

- ・ゾーニングについて
- ・空間イメージについて

【公園編③】 2021年4月11日(日)予定

- ・基本計画案について
- ・管理・運営について

富まちミーティング【公園編①】の振り返り

日時 : 2020年12月5日(土) 10:00~
会場 : ゆう・ゆうプラザ(人権文化センター)
参加者 : 計17名

主な内容

- 趣旨説明
- グループディスカッション
 - ①公園のコンセプトについて
 - ②公園の利活用イメージについて
- 発表・まとめ



新しいまちにとって、どんな公園になったらよい？

富秋中学校区等におけるまちづくりの基本方針

①多世代交流の促進
によるコミュニティ
を育むまちづくり

②若者・子育て世帯
の定住が叶うまちづ
くり

③安心・安全・快適
な生活環境づくり

④訪れたい魅力
あるまちづくり

富まちMTG【公園編①】での意見

- いつでも誰かがいる、自然にコミュニケーションが生まれる公園
- 子どもからお年寄りまで幅広い世代間の交流が生まれるような公園。
地域は高齢化して子どもが少ない。新しい住民が住むと若い世代が増える。今の住民と新しい住民が交流できることが大切。
- イベントや防災活動等の地域活動の中心の場となる公園。
- 未就学児から小中学校まで、年齢層に応じた遊び場のある公園。
- 子どもたちがのびのびと安全に遊べる公園。
- みんなが集いやすい、癒しがある公園。
- 毎日散歩して楽しめるような公園。
- 花を絶やさないこと等、癒される公園にしたい。
- 防災を大事にするだけでなく、日常使いもできる公園。
- 人の目があり安心して遊べる公園。
- 移住してきた人、元々住んでいる人、どちらにとっても魅力ある公園。
- まちのシンボルとなる公園。かわいい名前をつけるなど分かりやすく。
- 公園を整備した後の管理運営が重要。地域で考え、利用しやすい公園にしたい。

交流・
にぎわい

子どもの
遊び

花みどり
・癒し

安心安全
・防災

まちのシンボル
地域で考える

公園でどんな風に過ごしたい？どんなことをしてみたい？

交流・にぎわい

日常的な交流

- 高齢者と小中学校の子供たち等の多世代の交流の場になればよい。
- まちなかの好立地を活かして、多方向から公園内を通り抜けられるようにし、公園内に常にだれかがいて、人の目がありコミュニケーションが生まれる公園にしたい。

にぎわい・イベント

- キッチンカーを出すなど、地域でのイベントができるように。
- 納涼花火、焼き芋などができるような公園。
- 子どもと楽しめるイベント。キャンプやナイトシアター等。

子どもの遊び

小さなこども・親子

- 年齢別のゾーンを設置（乳幼児、小学生、中学生など）すれば、小さな子どもも安全に遊べるようになると思う。
- 小さな子連れの場合には特に、夏場に日陰となる場所が必要。
- 隣接している子ども園からの利用を考える。

遊具

- 孫が来た時に歩いて行ける所で遊びたい。
- 子どもを連れて遊びに来れるような遊具が充実した所があれば良い。
- 遊具は子供の遊びを規定してしまう。虫とりなどもっと自由に遊べるような場所にしたい。

ボール遊び

- スケボーやバスケットボールなど若い人の遊び場が欲しい。
- 小学生がキャッチボールできる所が欲しい。

のびのびと遊べる

- 禁止事項の多い公園でなく、子どもが自由に遊べる場所にしたい
- 団地内の公園では、うるさくないように子ども達も気を使っているのびのび遊べていない。
- 子ども達がのびのびと遊べる遊び場にしたい。

自然の中で遊ぶ

- 斜面を利用した遊び場。
- 樹木の多くて自然が感じられる遊び場。

花みどり・癒し

散歩

- 散歩、休息、池上曽根史跡公園のように
- 毎日散歩できる公園。

自然・季節感

- 虫とりができるとうよい。
- 四季の変化がわかる様な感じが良い。
- 花を絶やささないこと等、癒される公園にしたい。

その他

- 駐車場が必要。
- テニスコート（正式なコートでなくても練習や壁打ちができれば）

安心安全・防災

防災

- マンホールトイレやかまどベンチ等の施設があるとよい。
- 小学校の防災倉庫のような施設も必要。
- 防災イベントを開催し、炊き出しなど経験を積むことが必要。
- 避難できるスペースのほか、撤去できる遊具（避難スペースの確保等）や、平常時は雨天時のシェルターにもなるような屋根付き施設があるとよい。

安心・安全

- 周辺の道路や園内を通行する自転車と、遊び場や歩行者用園路は分離して、安全に利用できるように。
- 子供たちの飛び出し等に対する安全や、防犯灯や安全なトイレ等が必要。

地域で考える・使いやすい公園

- 犬の散歩や、高学年・中学生のボール遊びは危険なのでルールが必要。
- 新しい公園でもイベントを開催する場合に周辺住民の理解が必要。
- ゴミ箱は、設置していない公園が多いけれど、設置も考えられないか。
- 活動スペースや、利用できる建築等があれば、地域で公園を管理運営できる。

地域で育てる、 まちのシンボル となる公園

今住んでいる人にとっても新しく
このまちに住む人にとっても魅力
ある公園を、地域で考え、地域で
活用しながら育てていく。

居心地がよく、いつも誰かがいて
交流が生まれる、まちのシンボル
となる公園を目指す。



コンセプト・テーマ（案）

普段から自然にコミュニケーションが生まれる公園。地域の様々なイベントでも活用できる、にぎわいのある公園。



四季が感じられ、心地よい居場所がある、誰もが癒される公園。

交流・
にぎわい

花みどり
・癒し



地域で育てる
まちのシンボル
となる公園

年齢層毎の
遊び

安心安全
・防災



乳幼児から若者まで、年齢層毎にのびのびと遊べる楽しい公園。



普段から人の目があることで安心して利用できる公園。災害時に必要な防災機能も備えた公園。

検討にあたっての方針（条件）

【公園の位置づけ】

近隣公園（現在の旭公園と同じ）

- 主として近隣に居住する人の利用を目的に設置する公園。
- 誘致距離500m程度。

検討にあたっての方針（条件）

【公園の面積】 約1ha（現在の旭公園の開設済面積は約0.8ha）



東西で約5mの
高低差がある

放光池1号・2号公園
の合計とほぼ同じ

検討にあたっての方針（条件）

… 今回の公園では整備できないもの …

- 駐車場
- 大屋根のある建築
- 公式競技が可能な
スポーツ施設、コートなど

富まちミーティング【公園編②】のテーマ

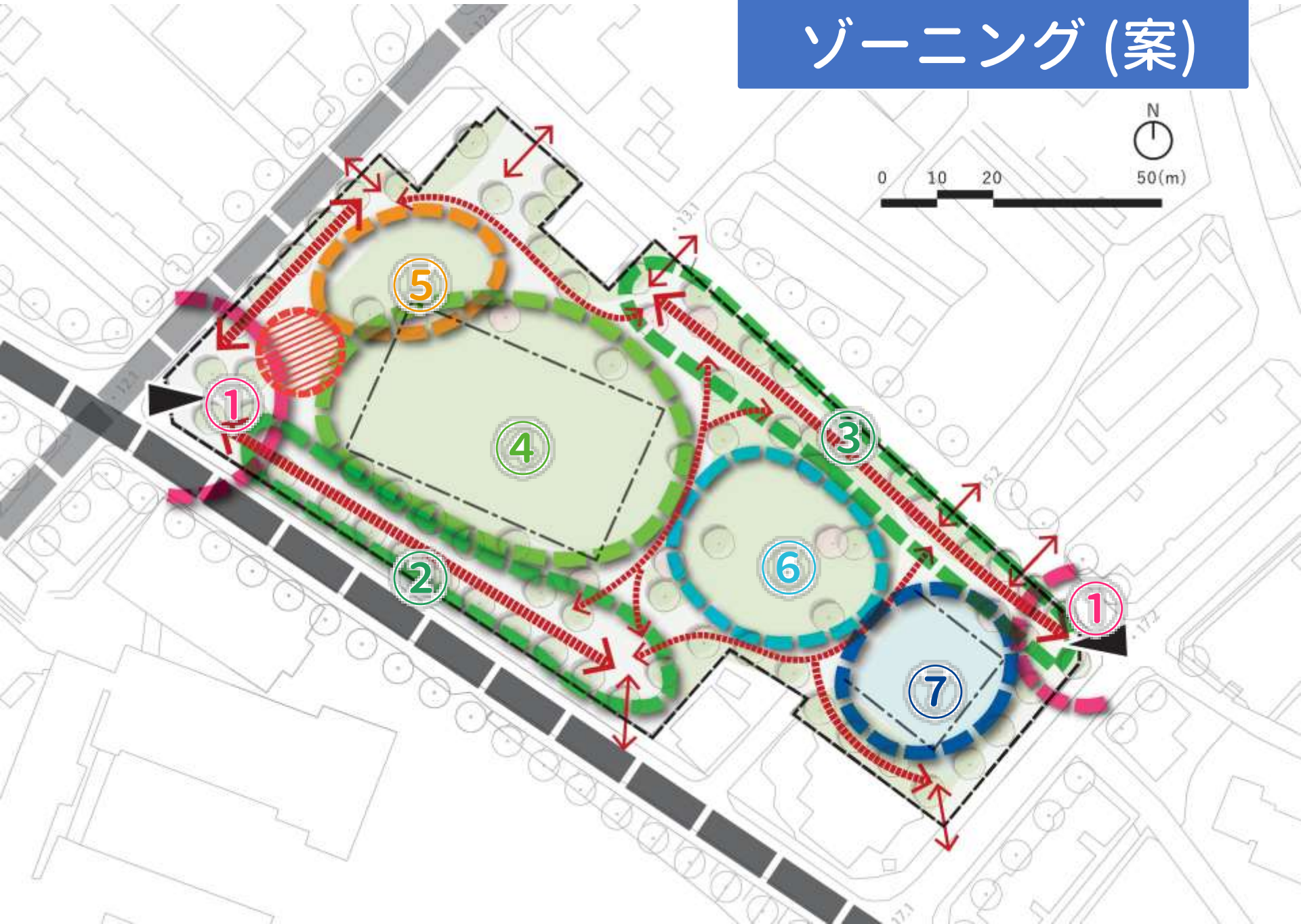
ゾーニング

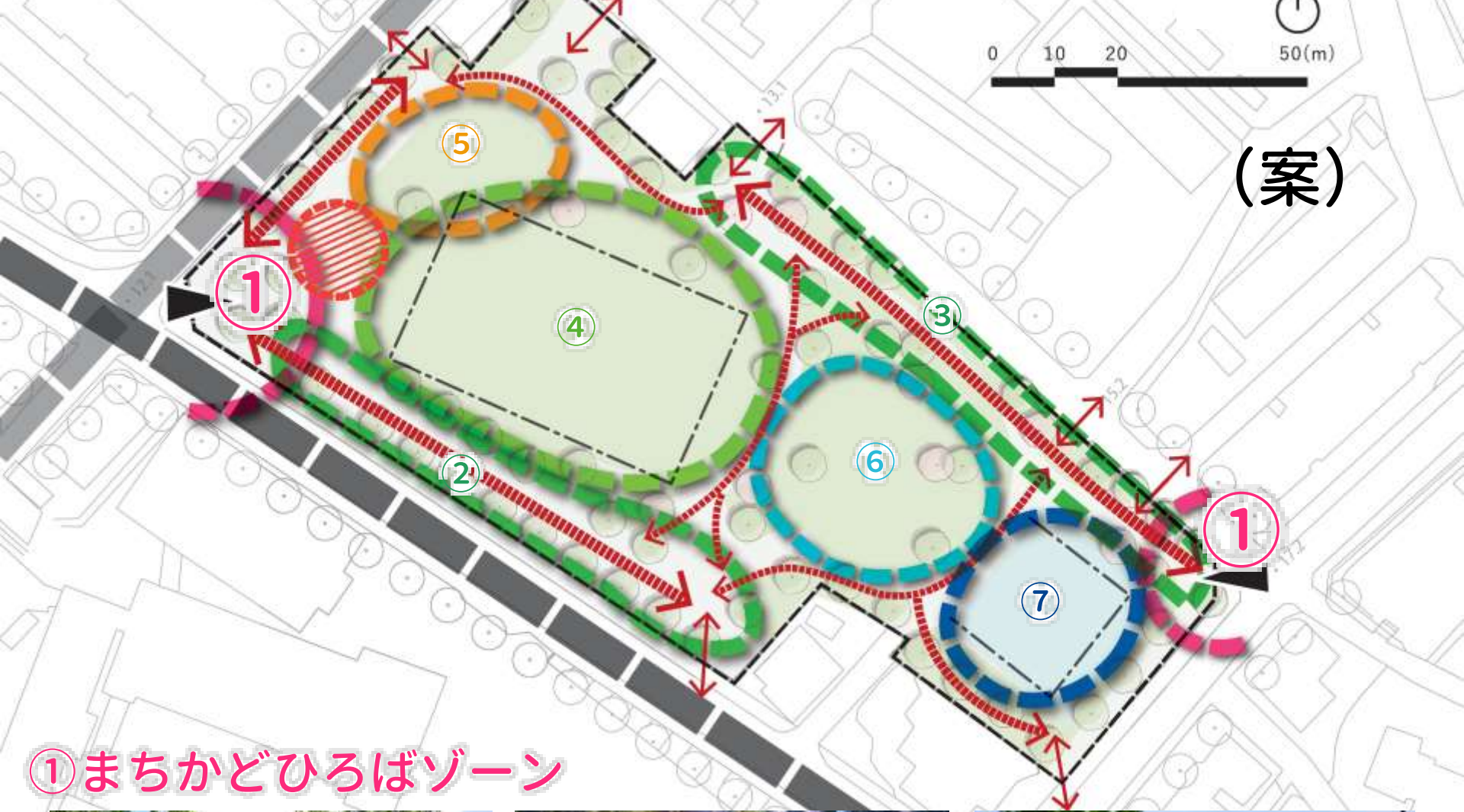
使いやすい配置や動線を具体化する

空間イメージ

それぞれのゾーンの空間をイメージする

ゾーニング (案)



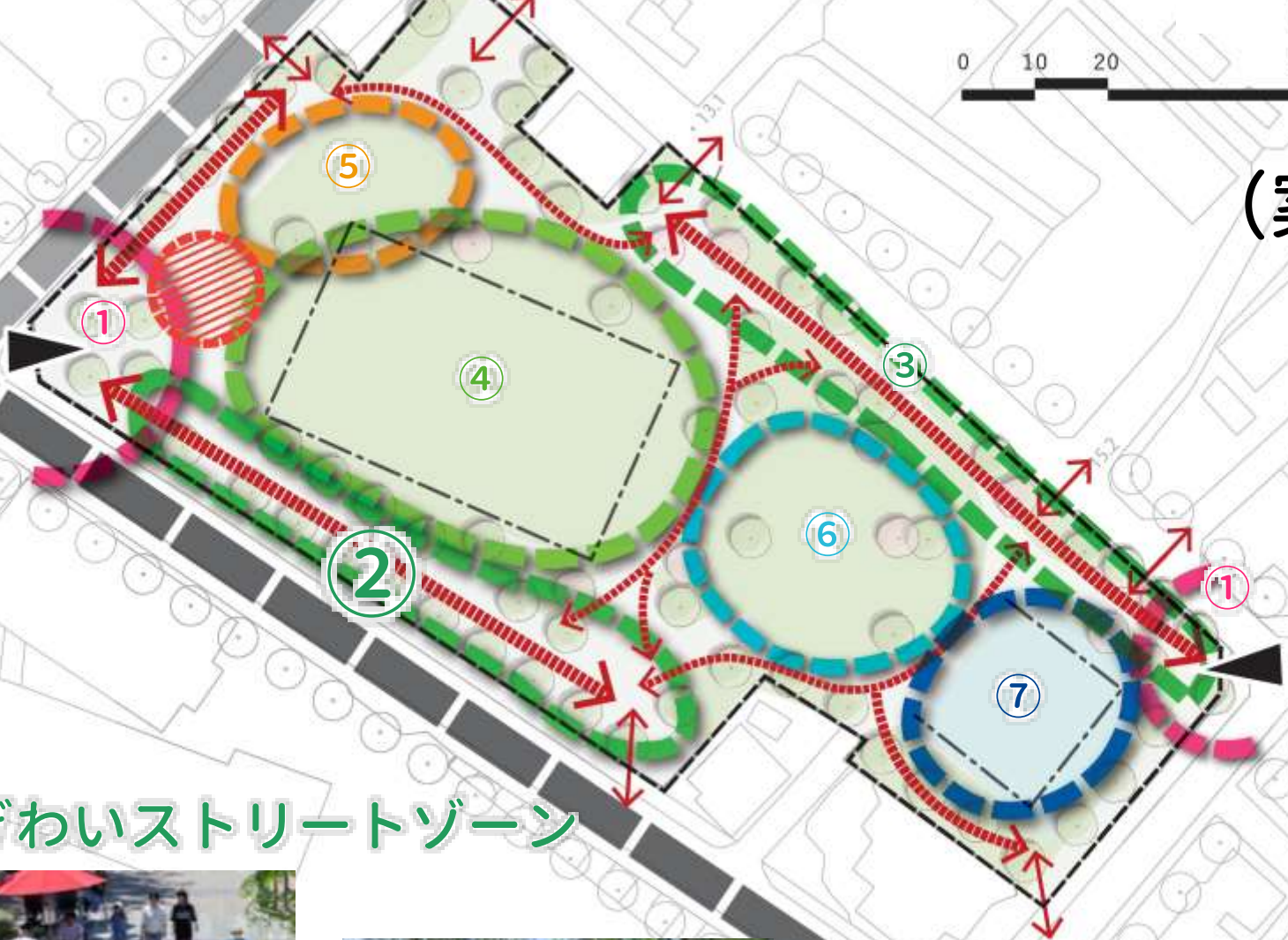


①まちかどひろばゾーン



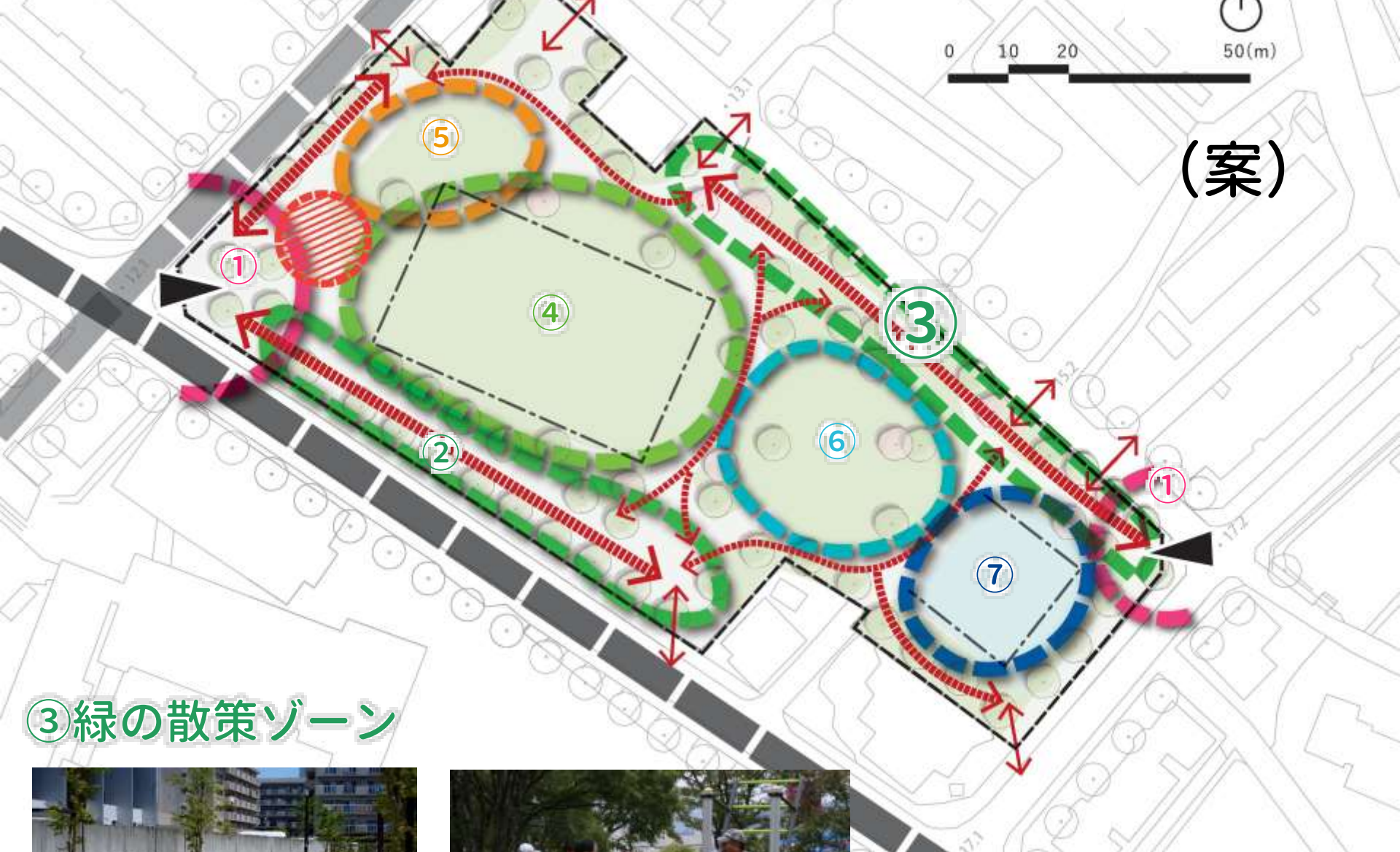


(案)



②にぎわいストリートゾーン





③ 緑の散策ゾーン



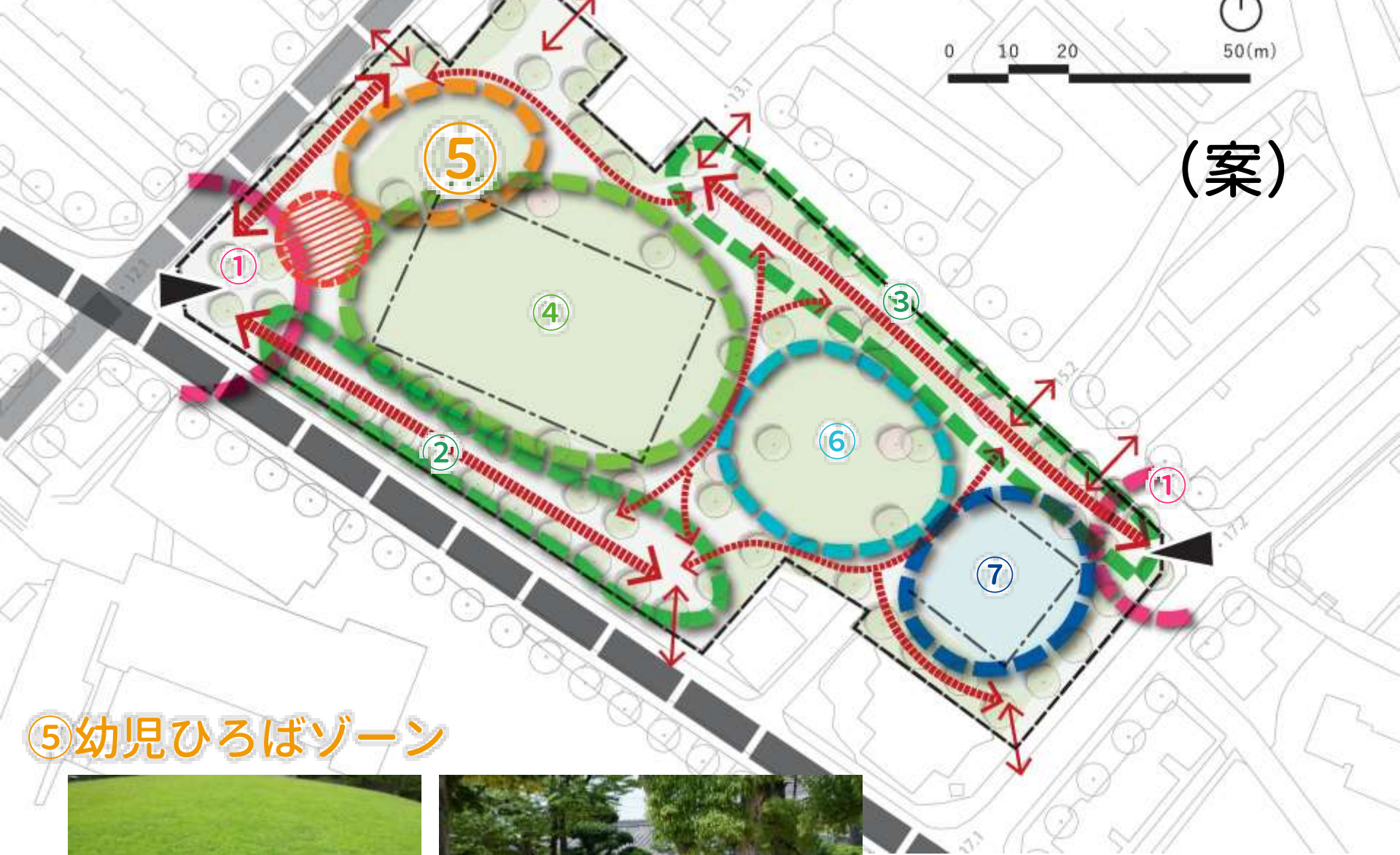


(案)



④ 交流ひろばゾーン





⑤ 幼児ひろばゾーン





⑥あそびのひろばゾーン





(案)

⑦ アクティブゾーン?

⑦ 憩いのにわゾーン?

目安: 20m × 20m



空間イメージ (例)

交流・にぎわい

まちかど



にぎわい



花みどり・癒し

休憩施設 (憩い、交流)



園路



安心安全・防災

防災



空間イメージ (例)

子どもの遊び

遊具遊び



地形を活かした遊び



環境を活かした遊び



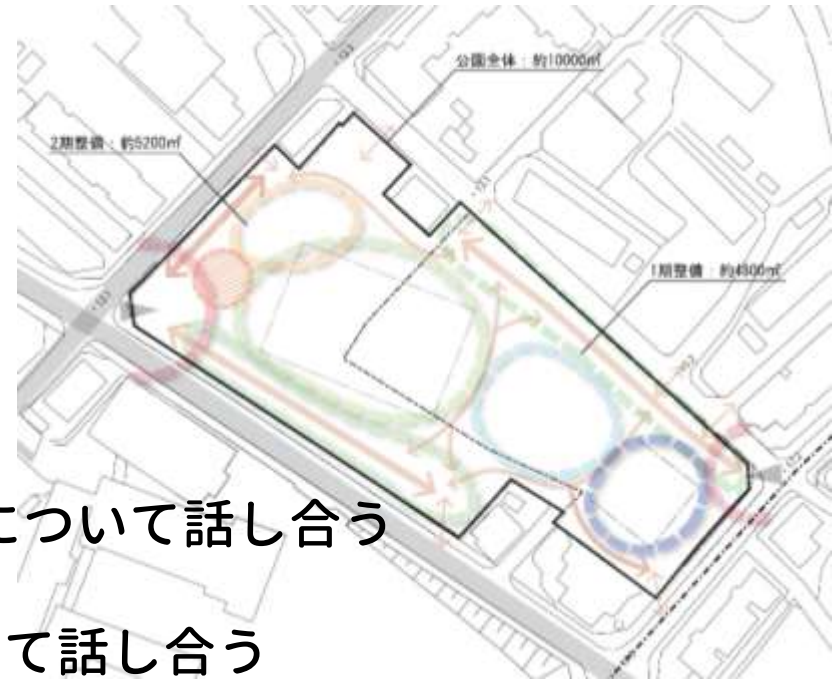
健康づくり



ボール遊び



富まちミーティング【公園編②】 検討事項



- (1) 大きな空間構成(ゾーニング) について話し合う
- (2) 空間イメージのポイント について話し合う
 - ex) あそびのイメージ (遊具 / 地形 / 環境 / ボール遊び)
 - 広場のイメージ (芝生 / 土)
 - 休憩施設 (ベンチなど) の配置イメージ
- (3) 大事にすべき考え方をまとめる
 - ex) 高低差を活かす
 - 年齢層毎に居場所がある
 - 地域でルールをつくり難しいことにもチャレンジする